

# HISTORY

## 2005

2005年 2月  
JASDAQ上場

2004年 4月  
韓国支店を開設

2003年 7月  
第三者割当増資( 資本金3億8,705万円 )

2003年 4月  
EMU - 220A、海外に出荷開始  
本社ビル移転( 東京都新宿区 )

1999年 1月  
EMU - 200を海外に出荷開始

1998年 12月  
マスク用電子ビーム微小寸法測定装置EMU - 200/300を開発・発表  
ステンスルマスク検査技術( 特許 )を確立、発表

1996年 3月  
テクニカルセンターを東京都狛江市から埼玉県所沢市に新設・移転

1986年 10月  
電子ビーム微小寸法測定装置( ESPA - 11 )を開発・発表

1985年 5月  
東京都新宿区に(株)ホロンを設立( 資本金3,300万円 )

## 1985

会社情報、IR情報は、  
ホームページでご覧いただけます。

➡ <http://www.holon-ltd.co.jp/>

**HOLON** 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-5 新宿土地建物第11ビル3F  
株式会社 **ホロン** TEL:03-3341-6431(代)  
( JASDAQ:7748 )

**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています

株式会社 **ホロン**  
**HOLON**



### 第20期 事業報告書

平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日

# ホロンのものさしは ナノメートル。 見えない世界を 測ります。



代表取締役  
富加津 好夫

## 株主の皆様へ

株主・投資家の皆様におかれましては  
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

おかげさまで、株式会社ホロンは平成17  
年2月9日にジャスダック市場に上場するこ  
とが出来ました。これもひとえに株主の皆様を  
はじめ、関係各位のご理解とご支援の賜物  
と厚く御礼申し上げます。

当社は、研究開発型企業として、半導体ウエハ及びマスク上の回  
路寸法を電子ビームによって測定する微小寸法測定装置の開発・  
製造・販売を行ってまいりました。

今後も新しい技術の開発と探究心を持って装置を進化させ、提供  
していくことがホロンの使命であり、人類の科学技術の発展に貢献し、  
価値を創造していくことが可能と考えております。

当社は当期で創業20周年を迎えましたが、更に社会の発展に貢  
献し続けることで、企業価値を高めていくことに最大限の努力をして  
いく所存です。株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも格別  
のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 業績報告

### 当期の概況

当期、当社が参画しておりますエレクトロニクス・  
半導体産業は、最終製品である携帯電話、薄型テレ  
ビ、DVDレコーダー等デジタル家電の販売価格競  
争の激化により売上は伸びるものの利益の面でダ  
ウンしました。しかし、カーナビゲーションやETC等  
自動車搭載情報システムや介護・住宅・安全等への  
新商品やロボットが半導体需要の大きな市場に発展しつつあります。

一方、半導体産業を支えている半導体装置産業は、常に新しい技術・製  
品の開発競争にさらされています。その中において、検査装置はその重  
要性がますます高まっています。

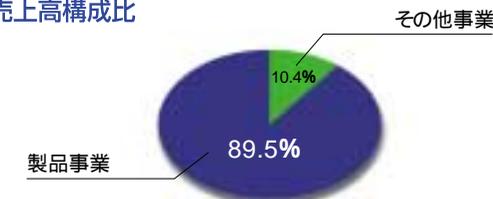
ー昨年、米国ケーエルエー・テンコール社がマスクCD - SEM市場から  
撤退した一方で、米国アプライドマテリアルズ社とドイツライカ社(アドバ  
ンテスト社との共同開発)の新規参入があり、性能・価格競争が激化、複数  
台が市場に投入されました。

当社は新規参入メーカーに対し、更なる優位性を確保するため、65nm  
量産及び45nm開発対応のマスクCD - SEMである新製品のEMU -  
250を発表し、売り込みを始めました。

このような状況のもと、当社におきましては、韓国・台湾等、アジア向け  
の販売が堅調に推移しました。その結果、製品事業の売上高は前期比  
22.5%増加の20億14百万円となりました。その他事業につきましては、  
共同開発研究の減少等により、売上高は前期比35.5%減少の2億35百  
万円となりました。

上記の結果、当期売上高22億50百万円(前期比11.9%増)、経常利  
益は5億27百万円(前期比7.1%減)、当期純利益は3億34百万円(前  
期比6.6%減)となりました。

### 売上高構成比



### 次期業績予想

エレクトロニクス・半導体産業は、最終製品の高  
機能化が加速し、半導体の大容量化・高速化等が  
必須の状況となり、より微細な回路を持った半導体  
の設計・製造が進展しております。半導体メーカー  
等は常に新しい技術開発競争にさらされ、半導体  
検査装置の重要性はますます高まっております。

こうした状況のもと、当社は新技術・新製品の開発に注力し、ますます  
その性能を高めてまいります。競合企業の参入もあり競争は激化し、  
次期業績見通しは厳しいものになると予想しております。

次期業績につきましては、売上高23億円、経常利益4億50百万円、  
当期純利益2億83百万円を計画しております。

### 業績ハイライト

売上高(単位:百万円)



経常利益(単位:百万円)



当期純利益(単位:百万円)

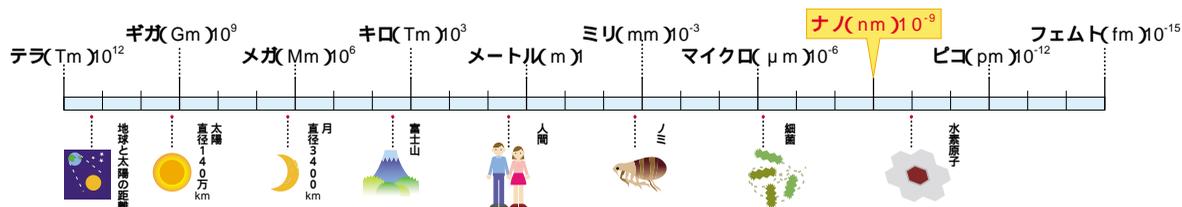


## CONTENTS

株主の皆様へ	1
業績報告 / 業績ハイライト	2
事業内容	3
将来の展望とホロンの強み	4
財務諸表(要旨)	5
株式情報、株主メモ、会社概要、役員	6

## 半導体の回路寸法を、電子ビームによって測定する 検査装置の開発、製造、販売、保守サービス

半導体の回路寸法はnm(ナノメートル)単位で表されています。当社では、小型化が進むPC、携帯電話、カーナビゲーションシステム、デジタル家電などの機器に不可欠な半導体が、設計どおり作られているかどうかを検査・測定する装置を開発・製造・販売いたしております。

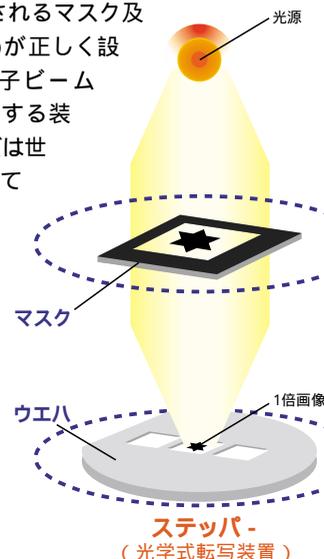


**Q** 製品(装置)は半導体製造過程のどこに使用されているのでしょうか?

**A** 当社の製品は、半導体デバイスの製造過程で使用されるマスク及びウエハ(右図参照)が正しく設計されているかを電子ビームを使用して検査、測定する装置です。EMUシリーズは世界で最も多く採用されているマスク寸法測定装置です。

### ステッパ-の原理

半導体の製造過程の中でも中核となる「フォトリソ」プロセスに使用される光学式転写装置です。写真に例えるとマスクはネガフィルム、ウエハは印画紙に相当します。



### EMUシリーズ



電子ビームによってマスクの寸法を測定する装置。  
EMU-Naviアプリケーションを付加することによりレシビ(手順)作成の必要がなく、自動計測が可能となります。

測定作業の効率化

### ESTシリーズ

より微細な加工を行う際に使われるステンシルマスクの寸法を電子ビームによって測定する装置。



### ESPAシリーズ

ウエハ上の回路線幅の寸法を電子ビームによって測定する装置。

社会の変化を先取りする先見力とそれに対応した製品をつくる技術力。そこに当社の成長の道筋がある。



### ホロンの強み

- 高性能・低加速電圧電子光学系
- 国内外の大手マスクメーカー、大手デバイスメーカー、大手ステッパーメーカーが顧客
- 自動かつ無人のデータハンドリング機能を持つソフトの開発

### ホロンの今後の展開

- 今後も持続的な成長、確かな収益をあげる企業体質でありつづける
- 製品開発による高付加価値の維持・確保
  - 業界におけるプライスリーダーの確保
  - 技術力を生かした新たな展開

貸借対照表

科目	前期 平成16年3月31日現在	当期 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	2,020	2,549
現金及び預金	1,157	910
受取手形	9	277
売掛金	77	466
有価証券	260	484
その他	515	410
固定資産	360	374
有形固定資産	254	253
無形固定資産	1	1
投資その他の資産	104	119
資産合計	2,381	2,923

科目	前期 平成16年3月31日現在	当期 平成17年3月31日現在
負債の部		
流動負債	786	617
固定負債	314	233
負債合計	1,100	850
資本の部		
資本金	387	585
資本剰余金	166	529
利益剰余金	727	957
資本合計	1,280	2,072
負債及び資本合計	2,381	2,923

損益計算書

科目	前期 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日	当期 平成16年3月31日～ 平成17年3月31日
売上高	2,010	2,250
売上原価	836	1,096
売上総利益	1,174	1,153
販売費及び一般管理費	537	623
営業利益	636	529
営業外収益	2	17
営業外費用	71	20
経常利益	567	527
特別損失	0	0
税引前当期純利益	567	527
当期純利益	358	334

キャッシュ・フロー計算書

科目	前期 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日	当期 平成16年3月31日～ 平成17年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	983	382
投資活動によるキャッシュ・フロー	39	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	122	395
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	1
現金及び現金同等物の増減額	767	22
現金及び現金同等物の期首残高	649	1,417
現金及び現金同等物の期末残高	1,417	1,395

(平成17年3月31日現在)

株式情報		
会社が発行する株式の総数	84,240株	
発行済株式の総数	25,520株	
株主数	3,242名	
大株主		
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
富加津 好夫	4,565	17.9
株式会社エー・アンド・デイ	2,698	10.6
KLA-TENCOR CORPORATION	1,540	6.0
JFEエンジニアリング株式会社	1,235	4.8
宮内 栄	790	3.1
新田 純	680	2.7
松井証券株式会社(一般信用口)	543	2.1

(平成17年3月31日現在)

株主メモ	
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日、その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日	利益配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
売買単位	1株
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目8番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:03-3323-7111(代)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公告掲載アドレス	http://www.holon-ltd.co.jp/ir/index05.htm

(平成17年3月31日現在)

会社概要	
会社名	株式会社ホロン(HOLON CO., LTD.)
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-5 新宿土地建物第11ビル3F TEL:03-3341-6431(代)
設立	昭和60年5月
資本金	5億8,595万円
代表者	富加津 好夫
従業員数	53名
事業内容	半導体検査装置の開発、製造、販売、保守サービス

(平成17年6月28日現在)

役員			
代表取締役	富加津 好夫	取締役	穴澤 紀道
取締役	崎山 武美	取締役	松方 清彦
取締役	新田 純	取締役	川崎 成二
取締役	安宅 正志	取締役	東 祥弘
常務取締役	高柳 新次	監査役	有賀 益千代
監査役	三澤 順一		

1:取締役東祥弘は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。  
2:監査役有賀益千代及び三澤順一は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。